

学校法人天理大学 財務の概要

(1) 平成 24 年度決算の概要

平成 24 年度決算について、予算と対比してその概要を報告します。

◆ 資金収支計算

資金収支計算書は、当該年度における教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容、並びに支払資金の収支のてん末を明らかにしたものです。すべての収支内容を明らかにするとは、実際の収入・支出に限らずその会計期間に入金又は出金すべき額、すなわち未収入金や未払金も収入・支出に含め、授業料免除等のお金の動きが実際にない活動も含めることになります。また、支払資金のてん末とは、支払資金の前年度末残高、入金、出金及び年度末残高を明らかにすることです。従って収入には前年度繰越支払資金を含めて計算し、支出には次年度繰越支払資金を含めて計算することになり、収入の部合計と支出の部合計は一致します。

資金収支計算書は企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いものですが、個々の収入金額、支出金額は前受金、未収入金、未払金、前払金等で処理した費用も含まれていますので、必ずしもキャッシュ・フローとはなっていません。しかし、それら前受金等を調整する「調整勘定」を設けることにより、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

(単位：千円)

●収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,581,370	3,591,305	△ 9,935
手数料収入	72,865	76,454	△ 3,589
寄付金収入	2,910,200	2,909,550	650
補助金収入	1,179,971	1,210,555	△ 30,584
資産運用収入	52,823	56,411	△ 3,588
資産売却収入	140,000	140,000	0
雑収入	299,471	301,932	△ 2,461
前受金収入	472,250	498,605	△ 26,355
その他の収入	375,731	374,870	861
資金収入調整勘定	△ 752,988	△ 780,319	27,331
前年度繰越支払資金	4,698,349	4,698,349	
収入の部合計	13,030,042	13,077,712	△ 47,670

●支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費支出	5,793,928	5,813,866	△ 19,938
教育研究経費支出	1,269,398	1,189,445	79,953
管理経費支出	358,501	325,683	32,818
借入金等利息支出	2,706	2,705	1
借入金等返済支出	100,000	100,000	0
施設関係支出	323,600	320,736	2,864
設備関係支出	198,567	194,447	4,120
資産運用支出	101,310	100,467	843
その他の支出	1,302,491	1,316,192	△ 13,701
資金支出調整勘定	△ 926,877	△ 844,814	△ 82,063
次年度繰越支払資金	4,506,418	4,558,985	△ 52,567
支出の部合計	13,030,042	13,077,712	△ 47,670

収入の部では、学生生徒等納付金収入の決算額はほぼ予算どおりとなりました。手数料収入は入学検定料収入の増額により 359 万円の収入超過となっています。寄付金収入は宗教法人天理教より 29 億円、100%出資の事業会社「キャンパスサポート天理」より受配者指定寄付金が 500 万円ありました。24 年度より寄付をホームページ上で募集し、クレジットカード等を利用することによりホームページで受付するシステムを構築しました。それにより使途指定寄付金 297 万円、その他の寄付金 158 万円を受け入れました。補助金収入は国庫補助金収入が追加の補助申請をしたことから 1411 万円の予算超過となりました。地方公共団体補助金収入は見込みを上まわり、1647 万円が予算額より増額となりました。資産運用収入は債券等の購入により予算額より増額となっています。雑収入は私立大学退職金財団等交付金収入が予算どおり、また、その他の雑収入では文部科学省科学研究費補助金間接経費等が増えたため収入超過となりました。当年度収入合計は前年度の 84 億 5690 万円より 1 億 7069 万円減少して 82 億 8621 万円となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では 130 億 7771 万円となりました。

支出の部では、人件費支出は見積りより増額となり、1994 万円の予算超過となりました。教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、設備関係支出に計上された主な工事、備品等の整備は以下のとおりです。

施 設	内 容
大 学	◇研究棟自動火災報知器更新工事 ◇柚之内第一体育館自動火災報知器更新工事 ◇体育学部架空高圧配線路設備更新工事 ◇CALLシステムユーザーサポート作業 委託料 ◇情報ライブラリー業務委託料 ◇図書資料遡及データ登録作業費

施 設	内 容
大 学	◇ラグビー寮改修工事 ◇売店新店舗入居用電源供給工事 ◇4号棟教室机・椅子入替 ◇体育学部ボール式屋外時計構築 ◇運動動作解析システム ◇野球寮公共下水工事 ◇仮想化サーバーリプレイス
図 書 館	◇自動火災報知器更新工事 ◇重要文化財保存修理 ◇特別本「高徳院発句会」 「月並発句帖」「夏より」他購入
参 考 館	◇自動券売機入替
高等学校	◇北寮エアコン設備・給湯設備工事 ◇みのり寮エアコン設備・給湯設備工事 ◇第2PC教室設備更新 ◇第3別館ベランダ通路フェンス修繕塗装工事 ◇一部硬 式野球部選抜野球大会出場補助 ◇北寮スチール窓改修工事 ◇火水風寮外壁雨漏り 修繕工事 ◇陽心寮便所小便器取替工事 ◇農事部トラクター購入
中学校	◇エレベータ設置工事 ◇保健室改修工事
小学校	◇給食用消毒保管庫購入

日本私立学校振興・共済事業団からの借入金にかかる返済支出は予算どおり1億円、同利息分が271万円です。資金支出は合計で130億7771万円となり、そのうち次年度繰越支払資金は45億5898万円となりました。

◆ 消費収支計算

消費収支計算は企業会計における損益計算の仕組みに類似しています。すなわち帰属収入（学校法人の負債とならない収入＝収益）から基本金組入額（教育・研究を継続的に維持向上させていくために必要な土地、建物、機器備品、図書等を取得した金額＝資産）を差し引いた消費収入と消費支出（消費した資産の価額及び用役の対価＝費用）を比較して、その均衡の状態、収入が超過しているか、あるいは支出が超過しているかを判定するものです。（損益計算書では計上されない資本金的支出が、消費収支計算書では基本金組入額として計上されている点が主な相違点です。）

学校法人は企業と異なり収益の獲得を目的とするものではありませんので、学校法人会計には損益の計算という概念はありません。教育研究内容に見合った適正な収入を得て、教育研究活動の機会と場を永続的に提供することを目的としています。消費収支計算書の消費収入と消費支出が長期的にはつり合い、必要な資産が維持されることが健全な学校経営として望まれるところです。

（単位：千円）

●消費収入の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,581,370	3,591,305	△ 9,935
手数料	72,865	76,454	△ 3,589

寄付金	2,921,530	2,919,595	1,935
補助金	1,179,971	1,210,555	△ 30,584
資産運用収入	52,823	56,411	△ 3,588
資産売却差額	0	5,000	△ 5,000
雑収入	299,471	301,932	△ 2,461
帰属収入合計	8,108,030	8,161,252	△ 53,222
基本金組入額合計	△ 570,167	△ 451,833	△ 118,334
消費収入の部合計	7,537,863	7,709,419	△ 171,556

●消費支出の部			
科 目	予 算 額	決 算	差 異
人件費	5,888,128	5,913,750	△ 25,622
教育研究経費	1,966,109	1,885,261	80,848
管理経費	394,368	361,218	33,150
借入金等利息	2,706	2,705	1
資産処分差額	16,200	45,855	△ 29,655
消費支出の部合計	8,267,511	8,208,789	58,722

当年度消費支出超過額	729,648	499,370	
前年度繰越消費支出超過額	10,010,909	10,010,909	
翌年度繰越消費支出超過額	10,740,557	10,510,279	

【用語（科目）の説明】

- ① 学生生徒等納付金…………授業料、入学金、実験実習料、維持費、教育設備充実費等
- ② 手数料……………入学検定料、試験料、証明手数料等
- ③ 寄付金……………宗教法人天理教よりの回付金、一般寄付金等
- ④ 補助金……………私立大学等経常費補助金、奈良県私立学校経常費補助金等
- ⑤ 資産運用収入……………預金、有価証券等の利息、配当金等
施設設備の賃貸料収入
- ⑥ 資産売却差額……………資産売却収入がその帳簿残高を超えた場合の超過額
- ⑦ 雑収入……………私立大学退職金財団等交付金収入、その他の雑収入
- ⑧ 帰属収入……………すべての収入のうち、借入金等の負債の増加とならない、本来的に学校法人に帰属する収入
(資金の収入を伴わない現物寄付を含む)
- ⑨ 基本金組入額……………取得した建物、機器備品等の固定資産のうち、帰属収入をもって充当した額
- ⑩ 人件費……………教員・職員に支給する本俸、期末手当及びその他の手当並びに所定福利費

役員報酬、退職給与引当金組入額

- ⑪ 教育研究経費……………教育研究のために要する経費及び教育研究用減価償却資産の減価償却額
- ⑫ 管理経費……………教育研究経費以外の経費及び教育研究用以外の減価償却資産の減価償却額
- ⑬ 借入金等利息……………借入金に係る利息
- ⑭ 資産処分差額……………固定資産を廃棄した場合の除却損

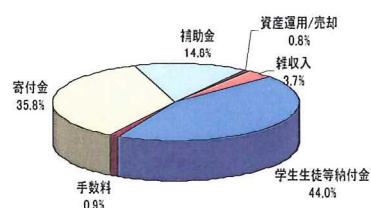
《前述の資金収支と共通の科目があるので、消費収支特有のものについて説明します。》

消費収入の部では、帰属収入合計が予算比 0.7%増の 81 億 6125 万円（前年度 6.4%〈5 億 5485 万円〉の減）となりました。基本金組入額合計が、予算比 20.8%減の 4 億 5183 万円となり、消費収入合計は予算比 2.3%増の 77 億 942 万円（前年度比では 9.4%〈8 億 183 万円〉の減）となりました。消費収入特有の現物寄付としては大学後援会等より図書の受贈、文部科学省科学研究費補助金による備品購入があり、寄付金は 29 億 1960 万円（前年度比では 10.2%〈3 億 3085 万円〉の減）となりました。消費支出の部では、人件費に退職給与引当金繰入額 6 億 9217 万円を含み、資金収支計算での人件費支出との差額は 9988 万円となっています。教育研究経費に 6 億 1444 万円、管理経費に 2668 万円の減価償却費を含んでいます。消費支出の部合計は 82 億 879 万円（前年度比では 5.8%〈5 億 731 万円〉の減）となりました。

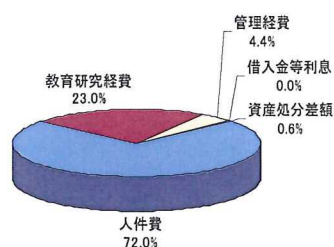
当年度消費収支差額は 4 億 9937 万円の消費支出超過額（前年度は 2 億 485 万円の消費支出超過額）となり、前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は 105 億 1028 万円となりました。

《消費収支計算のグラフ》

帰属収入の構成比



消費支出の構成比



◆ 貸借対照表

貸借対照表は、当法人の財政状態を明示するために、年度末に保有するすべての、資産、負債、基本金および消費収支差額を前会計年度末の額と比較して一覧表示したものです。資産の部は、貸借対照表の借方に表示され、学校法人天理大学に投入された資金がどのように使われているかを表示します。貸方に表示される負債、基本金、消費収支差額は、その資産が他人の資金（負債）によって賄われているか、自己資金（基本金、消費収支差額）で賄われているか、すなわち資金の源泉を表示しています。

企業会計という資本という概念がないので、基本金の部（基本金として組み入れている金額）と消費収支差額の部（消費収支計算で消費収入から消費支出を差し引いたものの会計年度末までの累計額）が貸方に計上されることが企業会計のものと異なる点です。

また、記載金額は期末時点の財産価値ではなく取得した当初の価額を基準とし（取得原価基準）、建物、機器備品等の時の経過によりその価値を減少させる固定資産の貸借対照表計上額は、減価償却をおこなった後の金額となります。

（単位：千円）

●資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	27,088,166	27,373,143	△ 284,977
有 形 固 定 資 産	25,309,958	25,560,401	△ 250,443
その他の固定資産	1,778,208	1,812,742	△ 34,534
流動資産	4,820,726	5,078,625	△ 257,899
資産の部合計	31,908,892	32,451,768	△ 542,876

●負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	1,090,408	1,090,525	△ 117
流動負債	1,566,322	2,061,544	△ 495,222
負債の部合計	2,656,730	3,152,069	△ 495,339

●基本金の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	38,973,223	38,521,855	451,368
第3号基本金	139,218	138,753	465
第4号基本金	650,000	650,000	0
基本金の部合計	39,762,441	39,310,608	451,833

●消費収支差額の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	10,510,279	10,010,909	499,370
消費収支差額の部合計	△ 10,510,279	△ 10,010,909	△ 499,370
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	31,908,892	32,451,768	△ 542,876

【用語（科目）の説明】

- ⑮ 固定資産……………有形固定資産：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛
その他の固定資産：有価証券、引当資産等
- ⑯ 流動資産……………現金預金、未収入金、仮払金、貯蔵品
- ⑰ 固定負債……………長期借入金、退職給与引当金
- ⑱ 流動負債……………短期借入金、未払金、前受金、預り金
- ⑲ 基本金……………第1号基本金：土地、建物、構築物、機器備品、図書、車輛等の教育研究に必要な資産を
自己資金で取得した総額
第3号基本金：天理大学ふるさと会海外研修基金、果実を学生の海外研修費用の一部に充当
第4号基本金：学校法人が円滑な運営を行うために必要な運転資金の額
- ⑳ 消費収支差額 ……………当年度以前の各年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額の累計額

資産の部では、有形固定資産が施設設備の更新、受贈等による増加と資産の除却による減少及び減価償却額を差し引いて、前年度末から2億5044万円減額しています。その他の固定資産は有価証券の償還があり、3453万円減額しています。流動資産は現金預金、未収入金等の減少により2億5790万円の減となり、資産の部合計では差引5億4288万円減の319億889万円となりました。負債の部では借入金、未払金、前受金、預り金が減少し、退職給与引当金が増加したので差引4億9534万円減の26億5673万円となっています。基本金の部では4億5183万円の基本金組み入れを行いましたので総額397億6244万円となりました。

消費収支差額の部合計は、消費収支計算の翌年度消費支出超過額と同額の105億1028万円の消費支出超過となっています。資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は292億5216万円となりました。

(2) 経年比較

財務状況について、収支計算書及び貸借対照表の大科目又は主な科目の過去5年間の推移を記載します。

(単位：千円)

資金収支計算書					
●収入の部					
科 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
学生生徒等納付金収入	3,450,498	3,388,355	3,289,724	3,394,678	3,591,305
手数料収入	75,177	75,701	78,616	77,457	76,454
寄付金収入	3,390,877	3,251,160	3,258,298	3,100,250	2,909,550
補助金収入	1,257,913	1,260,021	1,222,293	1,290,385	1,210,555
資産運用収入	60,029	59,984	55,280	53,203	56,411
資産売却収入	16,311	510	104,640	100,000	140,000
雑収入	412,667	308,612	248,903	440,927	301,932
前受金収入	638,723	548,415	505,340	526,665	498,605
その他の収入	389,120	338,524	299,592	492,630	374,870
資金収入調整勘定	△ 976,467	△ 928,536	△ 739,670	△ 880,210	△ 780,319
前年度繰越支払資金	5,056,219	4,378,655	3,937,418	4,169,107	4,698,349
収入の部合計	13,771,067	12,681,401	12,260,434	12,765,092	13,077,712

●支出の部					
科 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費支出	6,779,260	6,160,675	6,034,553	6,441,977	5,813,866
教育研究経費支出	1,206,959	1,161,355	1,171,301	1,167,167	1,189,445
管理経費支出	419,252	390,313	386,706	365,987	325,683
借入金等利息支出	9,035	7,453	5,870	4,288	2,705
借入金等返済支出	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
施設関係支出	984,777	76,743	65,030	87,233	320,736
設備関係支出	261,093	245,002	236,194	192,498	194,447
資産運用支出	142	234,728	96	109,078	100,467
その他の支出	987,508	1,360,152	922,438	900,861	1,316,192
資金支出調整勘定	△ 1,355,614	△ 992,438	△ 900,861	△ 1,302,346	△ 844,814
次年度繰越支払資金	4,378,655	3,937,418	4,169,107	4,698,349	4,558,985
支出の部合計	13,771,067	12,681,401	12,260,434	12,765,092	13,077,712

(単位：千円)

消費収支計算書					
●消費収入の部					
科 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
学生生徒等納付金	3,450,498	3,388,355	3,289,724	3,394,678	3,591,305
手数料	75,177	75,701	78,616	77,457	76,454
寄付金	3,415,086	3,466,252	3,271,458	3,250,441	2,919,595
補助金	1,257,913	1,260,021	1,222,293	1,290,385	1,210,555
資産運用収入	60,029	59,984	55,280	53,203	56,411
資産売却差額	7,807	0	393	0	5,000
雑収入	412,668	552,692	248,903	649,935	301,932
帰属収入合計	8,679,178	8,803,005	8,166,667	8,716,099	8,161,252
基本金組入額合計	△ 953,736	△ 423,714	△ 308,159	△ 204,849	△ 451,833
消費収入の部合計	7,725,442	8,379,291	7,858,508	8,511,250	7,709,419

●消費支出の部					
科 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費	6,746,319	6,212,382	5,851,321	6,220,850	5,913,750
教育研究経費	1,960,866	1,914,122	1,909,723	1,858,820	1,885,261
管理経費	460,866	730,247	425,029	622,004	361,218
借入金等利息	9,035	7,453	5,870	4,288	2,705
資産処分差額	83,004	16,240	36,114	64,397	45,855
消費支出の部合計	9,260,090	8,880,444	8,228,057	8,770,359	8,208,789
当年度消費支出超過額	1,534,648	501,153	369,549	259,109	499,370
前年度繰越消費支出超過額	7,511,165	9,035,533	9,382,250	9,751,799	10,010,909
基本金取崩額	10,280	154,436	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	9,035,533	9,382,250	9,751,799	10,010,908	10,510,279

(単位：千円)

貸借対照表					
●資産の部					
科 目	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末
固定資産	28,730,208	28,639,014	28,037,263	27,373,143	27,088,166

流動資産	4,725,940	4,235,569	4,366,395	5,078,625	4,820,726
資産の部合計	33,456,148	32,874,383	32,403,658	32,451,768	31,908,892
●負債の部					
固定負債	1,743,175	1,694,883	1,411,651	1,090,525	1,090,408
流動負債	2,220,185	1,764,152	1,638,048	2,061,544	1,566,322
負債の部合計	3,963,360	3,459,035	3,049,699	3,152,069	2,656,730
●基本金の部					
第1号基本金	37,739,857	38,009,016	38,317,081	38,521,855	38,973,223
第3号基本金	138,464	138,582	138,677	138,753	139,218
第4号基本金	650,000	650,000	650,000	650,000	650,000
基本金の部合計	38,528,321	38,797,598	39,105,758	39,310,608	39,762,441
●消費収支差額の部					
翌年度繰越消費支出超過額	9,035,533	9,382,250	9,751,799	10,010,909	10,510,279
消費収支差額の部合計	△ 9,035,533	△9,382,250	△ 9,751,799	△10,010,909	△ 10,510,279
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	33,456,148	32,874,383	32,403,658	32,451,768	31,908,892

(3) 主な財務比率の推移

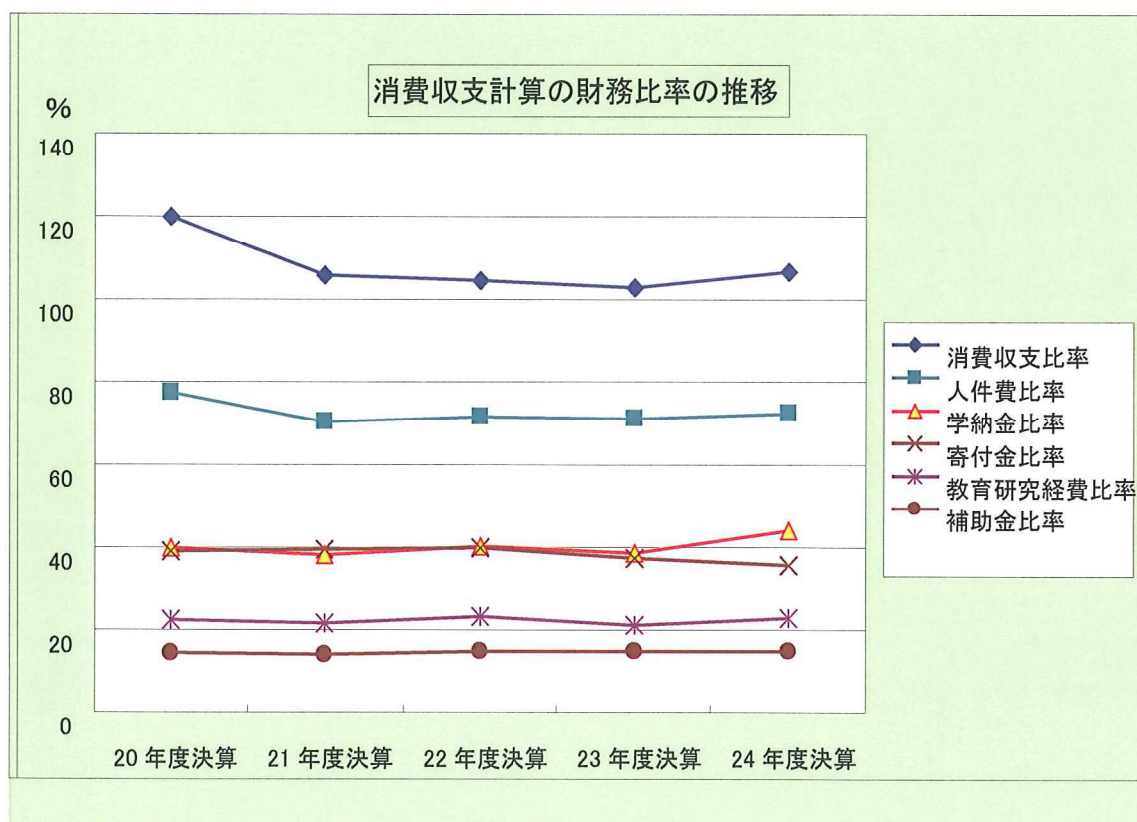
主な消費収支計算書関係比率と貸借対照表関係比率の過去5年間の推移を掲載し、一部の比率についてグラフにより概要を説明します。

(単位：％)

比 率	算 式 (×100)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	77.7	70.6	71.6	71.4	72.5
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	195.5	183.3	177.9	183.3	164.7
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	22.6	21.7	23.4	21.3	23.1
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.3	8.3	5.2	7.1	4.4
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.1	0.1	0.1	0	0
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	△6.7	△0.9	△0.8	△0.6	△0.6

消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	119.9	106.0	104.7	103.0	106.5
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	39.8	38.5	40.3	38.9	44.0
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	39.3	39.4	40.1	37.3	35.8
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	14.5	14.3	15.0	14.8	14.8
自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	88.2	89.5	90.6	90.3	91.7
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	212.9	240.1	266.6	246.4	307.8
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	13.4	11.8	10.4	10.8	9.1
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	98.6	98.9	99.2	99.4	99.7

「総資金」は負債＋基本金＋消費収支差額を、「自己資金」は基本金＋消費収支差額をあらわす。



消費収支比率は 100%を恒常的に上まわり、24 年度では 6.5 ポイント上まわりました。人件費比率は 21 年度から横ばい状態ですが、24 年度は 1.1 ポイントのアップとなりました。学生生徒等納付金比率（学納金比率）は学生生徒等納付金が増加し、寄付金が減少したことにより、24 年度は 5.1 ポイントのアップとなり、寄付金比率は 1.5 ポイントのダウンとなりました。教育研究経費比率は 1.8 ポイントのアップとなりました。補助金収入は昨年度より減額となりましたが、比率は同率となっています。